## 日野宿子ども発見隊(第6弾)

## 日野の用水であそぼう

8月4日(土) 午前9時30分~12時 新東光寺地区センター近くの用水 講 師 鶴田大三郎さん(緑と清流課) 谷享司さん 井上博司さん

昨年に引き続き第2回目となった日野宿子ども発見隊。今年は古くから大切にされてきた用水を取り上げました。場所は多摩川にほど近い新東光寺の日野用水です。夏休みのため祖父母の家に来ているという沖縄の兄弟を含め総勢50名の参加がありました。開会のあいさつのあと、さっそく鶴田班、谷班、井上班の3班に分かれ、各自網や水槽を手に手にもって、各班の先生について用水や田圃のなかを流れる小川に入って生き物探しに挑戦しました。



周りがコンクリートで固められているので生き物なんていないのかと思ったら、 魚がかくれられるような場所が作られていて意外といるのにびっくり。





見つけた生き物 フナ、ハヤ、タイワンタニ シ、ヤゴ、ザリガニ、ドジョ ウ、カワニナなど



ザリガニの親子

当日配った資料。インターンシップで来ていた法政大学の清水ひとみさん作成。色付けは職場体験やジュニア・スタッフできていた中学生たちに思い思いに色を塗ってもらったものです。

## ☆カゲロウのひみつ☆

~ 自野用水には「カゲロウ」の幼虫が住んでいます~

カゲロウはきれいな間の近くに住んでいる崑里です。一体の形は種様く、だきさはおよそ 1~2 センチくらいで、三角のとうめいな物をもっています。成単になるとものを食べることができず、オスもメスもとても短い間しか生きることができません。カゲロウの幼虫は間の中で生活し、エラをつかって呼吸しています。6本の脚と僕い尾をもっていて、コケのようなものを食べてだきくないます。エラと脚をつかって、流されないように岩には出ついているんですよ!



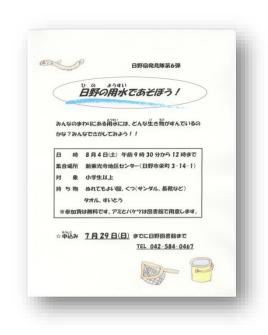


幼虫は数十回も脱皮をくいかえして亜成虫(あせいちゅう)になり、もう一度脱皮していっぱなおとなの成虫になります。

強い日差しのなか1時間ほど生き物探しに励んだあと、各 自発見したフナやハヤやザリガニやカゲロウの幼虫などを 持ち寄り、鶴田さんから用水の生き物についておはなしをき きました。また質問コーナーでは自然の生態について大人 顔負けの質問も飛び出すほどでした。

生き物探しのあとは冷たいスイカやオレンジを食べてホッとひといき。

木陰で涼みながら鶴田さんから 用水の生き物についてのお話し をききました。



ビラおよび ポスター

## おまけのはなし

▽当日の様子は日野ケーブル テレビでも放映されました。

マ下見のとき、まっさきに少年 時代に戻り夢中で獲物を追い かけていたのは井上さんや谷 さんでした。おかげで久しぶり にオイカワやドジョウなどに再 会できたのですが…。もちろん すぐにリリースしましたよ。

マー小北側の用水にアユがきているとききつけ、旧大門橋付近の用水にはいり何人かで追いかけましたが、アユに遊ばれてしまい残念ながらつかまえられませんでした。

